

令和6年度 調布市立第一小学校 学校評価報告書（学校長 樋川 宣登志）

学校の教育目標
○よく考え、自分から進んでやりぬく ②思いやりの心もち、なかよく協力する ○じょうぶなからだで明るい生活をする
目指す学校像(ビジョン) 例) 学校像, 教員像, 児童・生徒像
「子どもたち一人ひとりを大切にする学校」

調布市立学校における共通した領域 ＜短期的な経営目標＞						
	1 豊かな心(徳)		2 確かな学力(知)		3 健やかな体(体)	
自己評価	(1) 具体的な取組	評価	(1) 具体的な取組	評価	(1) 具体的な取組	評価
	①読書旬間の取組3回。Jソート、科学教室、福祉教育、ｽﾎｰﾂ体験、校外学習等々の実施。	B	①授業観察（2～3回）、OJT 研修（月1回）により授業スタイルを共有し、学習効果を高める。（通年）	B	①なわとび・持久走期間の取組。休み時間の遊び（運動）紹介、場の設置。	B
	②異学年交流（月1）、ハッピー・フェスティバル（全校遠足）実施。	A	②「進んで伝え合おうとする児童の育成」を図る研究の取組（研究授業4回）。	B	②「心と体の幸せ」講座を1年・ひまわり学級で実施。あわせて、学校保健委員会で性教育に関する講演会実施。	B
	(2) 成果（数値目標に対して）	評価	(2) 成果（数値目標に対して）	評価	(2) 成果（数値目標に対して）	評価
	①保護者アンケート（以下、アンケート）で、読書活動について肯定的評価 62.8%	C	①全国学力調査、国語・算数で、国-都-市の平均を上回った。算数では、国の平均を10割以上上回った。アンケートで、学力の定着について肯定的評価 94.8%	A	①アンケートで、運動に関する肯定的評価 72.7%	B
	②アンケートで、児童同士の尊重や協力について肯定的評価 93.7%	A	②アンケートで、自主的な学びについて肯定的評価 79.2%。	B	②保護者アンケートで、健康に関する肯定的回答 87.2%	B
学校関係者評価	◇授業参観では、子どもたちが交流したり協力したりする活動がすばらしかった。読書活動については、引き続き取り組んでほしい。		◇子どもたちの関心・意欲を高める指導の工夫、タブレット端末を活用した授業の工夫があり、学力や学習意欲につながっていると考える。		◇周囲の公園や運動スペースなどに限りがあり、それを考慮するとアンケートの数値は悪くないと考える。引き続きの課題として取り組んでほしい。学校保健委員会や保健授業はすばらしい。	
学校の特色を生かした領域 ＜短期的な経営目標＞						
	4 安全・安心な学校生活の確立		5 個性の尊重と伸長		6 保護者・地域の教育力の活用	
自己評価	(1) 具体的な取組	評価	(1) 具体的な取組	評価	(1) 具体的な取組	評価
	①感染症予防、アレルギー対応のルールの確実な実施（通年）。	B	①特別支援教室専門員・SS・EA 等による授業補助や個別指導の実施（通年）。	A	①地域運動会や夏祭りなど、PTA 行事や地域行事への参加。	B
	②いじめ対策委員会による未然防止と早期解決への取組（通年）。	A	②校内委員会の活用、関係機関との連携による不登校児童、保護者への支援（通年）。	B	②PTA・地域団体との連携による防災・防犯、交通安全の取組（通年）。	B
	(2) 成果（数値目標に対して）	評価	(2) 成果（数値目標に対して）	評価	(2) 成果（数値目標に対して）	評価
	①アレルギー事故0件。	B	①②アンケートで、相談・対応に関する肯定的評価 96.4%	A	①開催数、参加教員数の増。	B
	②いじめ案件についてすべて対応し、解消または対応後の観察中。	B			②交通事故、犯罪被害0件	B
学校関係者評価	◇落ち着いた学校生活への取組、いじめや不登校への丁寧な対応が見られた。		◇学力に課題がある子ども、教室に入ることが難しい子どもなどに、一人一人細やかに対応していて感心する。		◇地域の取組や校外部活動に、学校が大変協力的であった。	

人材育成・組織運営	
自己評価	◇自己申告面接での目標の設定と具体化、校長と各リーダーとの打合せ等を通して、ミドルリーダーの育成を進めた。運営面での立案や若手指導に力を発揮するメンバーが育ちつつある。 ◇OJT 担当をリーダーに、内容が豊富な校内研修会を開催できた。（月1回程度）。 ◇業務の効率化、職員のライフワークバランス改善を目指し、会議・業務等を整理削減するなど、ペーパーレス化を進めることができた。
学校関係者評価	◇校長の経営方針や経営状況について賛同し、教育活動の質を高く評価している。 ◇来校の際や授業参観の際などに、前向きでまじめな教職員の姿勢、指導力、子どもへの接し方について感心している。

中期的な経営目標の達成状況	
1	文化文芸的な活動、体験活動に十分に取り組み、児童の心を育てることをすすめられた。読書活動については引き続きの課題とする。
2	学力の定着は、よい状況である。児童の発言や話し合い活動、プレゼン発表なども順調に成果を挙げている。
3	健康保持・体力増進のための活動は、十分とはいえない。引き続きの課題とする。
4	安全・安心な学校生活を確立することは、概ね達成できている。
5	個別の支援に取り組み、児童や保護者の困り感に伝えてきている。不登校対応について、さらに一人一人の個性を大切にする支援を計画していく。
6	地域の教育力を活用した教育活動や安全確保は、概ね達成できている。
次年度の重点課題	
【不登校児童への支援】 【体力・運動能力の向上】 【読書好きを増やす取組】	◇不登校状況の児童への支援の充実。 ◇体育科授業の充実。 ◇読書旬間等の取組の強化。 ◇登校が難しくなりつつある児童の困難さへの対応。 ◇体力・運動への関心を高める取組の展開。 ◇児童・保護者への啓発活動。

